

平成 28 年度 第 4 回 倫理委員会審議

申請者	消化器内科医師	山口 太輔
受付番号	16-25	
課題名	上部消化管腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術時におけるプロポフォール、フェンタニル併用による鎮静法の評価	
研究の概要	本研究は上部消化管腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術（以下 ESD）を施行した対象者において、ESD 時の鎮静法をプロポフォール、フェンタニル併用群とミダゾラム、ペンタゾシン併用群に分けて、ESD 中の鎮静状況、循環、呼吸状態、ESD 治療成績などについて比較検討し、プロポフォール、フェンタニル塩酸塩併用による鎮静法の臨床上における有効性を評価する。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	小児科医師	中村 拓自
受付番号	16-40	
課題名	小児期の急性胃腸炎と尿路結石合併の関連の検討	
研究の概要	<p>ロタウイルス感染症やノロウイルス感染症による急性胃腸炎は小児において一般的な疾患である。脱水症にて入院加療を必要とすることもあるが、一般的に予後は良好な疾患である。近年、小児の急性胃腸炎において両側の尿管結石を合併し、腎後性腎不全を来す例が報告されている。</p> <p>小児尿路結石症は、通常、代謝性疾患（高カルシウム尿症、高尿酸血症、シスチン血症等）や腎泌尿器の解剖学的異常で生じるとされている。感染症が原因で生じる尿路結石症は全体の約 7%とされている。しかし、急性胃腸炎において尿路結石を合併する頻度については国内・外での十分な報告はない。そこで一般診療で用いることが出来る超音波検査による診断を用いて、急性胃腸炎における尿路結石の頻度を明らかにする。また、尿路結石による腎後性腎不全の危険因子として、3 歳以下、男児、ロタウイルス感染、高尿酸血症を有する児である等がこれまでに報告されている。本研究にて小児急性胃腸炎における尿路結石の合併頻度を明らかにすると共に、結石形成に関係する危険因子についての検討・解析も行う。</p>	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	小児科医師	岩永 晃
受付番号	16-41	
課題名	食物アレルギー経口負荷試験における摂取可能予測因子の検討	
研究の概要	食物アレルギーは近年増加傾向にあり、食物アレルギーの適切な管理を求めるニーズも増加している。その確定診断および耐性獲得の確認のために食物アレルギー経口負荷試験は重要な検査であるが、アナフィラキシーなど重篤な症状を誘発する可能性もあり、その施行時期、食品の選択、摂取量は慎重に判断されるべきである。食物アレルギー経口負荷試験の陽性率を予測する際には、抗原特異的 IgE 抗体価から算出されたプロバビリティーカーブを参考にすることが多い。しかし、異なる患者背景においてはその陽性的中率に差が出てくることが報告されているため、その他の予測因子も考慮しなくてはならない。そこで、食物アレルギー経口負荷試験の結果を予測する因子を明らかにする。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	消化器内科医長	森崎 智仁
受付番号	16-42	
課題名	Roux-en Y 再建術後の胆膵疾患に対する内視鏡治療の成績を検討する多施設共同後方視研究	
研究の概要	当院および協力施設における Roux-en Y 再建術後の胆膵疾患に対する内視鏡治療の有効性と安全性を証明する。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	内科系診療部第二部長	室屋 隆浩
受付番号	16-43	
課題名	DPC データを用いた心疾患における医療の質に関する事業	
研究の概要	本事業は、日本循環器学会 循環器疾患診療実態調査（以下 JROAD）参加施設の入院患者診療情報及び外来患者診療情報を用いて循環器疾患関連の ICD10 コードに基づいて対象症例を絞り込んだ全国規模の大規模データベースを構築し、今後の循環器疾患関連の研究に活用するとともに、医療機関の負荷を抑えた方法で循環器疾患関連症例データベース構築を継続していくものであり、JROAD により収集した施設概要、検査や治療の実施件数など調査内容と連携させることで、より悉皆性の高いデータベースを構築するものである。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	教育研修部長	内藤 慎二
受付番号	16-44	
課題名	病理診断支援システムの機能と病理部門インシデントの関係を調査する前向き登録研究（H27-NHO(多共)-02）	
研究の概要	病理検査（または診断）部門で発生するインシデントを前向き登録し、その発生数・内容と病理診断支援システムとの関連を解析する。これにより、インシデント発生の減少・防止に有効な病理診断支援システムの標準的な仕様を作成する。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	放射線科技師長	桑原 良二
受付番号	16-45	
課題名	外来患者案内システムに関するアンケート調査	
研究の概要	平成 28 年 8 月より、患者様に効率よい検査案内と診察待ち時間のストレス減少を目的に、外来患者案内システムを運用している。運用から 3 ヶ月が経過し、この目的がどの程度達成されているのかをアンケート調査により評価し、今後のシステムの改良及び運用の改善に役立てたい。	
判定	不承認	

申請者	小児科部長	在津 正文
受付番号	16-46	
課題名	佐賀市休日夜間こども診療所における吸入実施例の動向について	
研究の概要	エンテロウイルス D68 が 2015 年 9 月・10 月に全国的に流行し、それに伴い気管支喘息の増悪、喘息発作が増加したとの報告が認められる。しかし、その報告はほぼ入院施設での報告であり、外来診療期間での検討は少ない。そこで、エンテロウイルス D68 流行と喘息入院患者数の増加が指摘されている 2015 年度について喘鳴等外来患者数の 2013 年からの推移・動向を喘息の一般的治療である吸入療法より把握・検討する。	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	研修医	小川 綾華
受付番号	16-47	
課題名	当院における amyloid 沈着症例の臨床及び病理組織学的特徴の解析	
研究の概要	<p>当院における生検や手術などの摘出標本には、時に amyloid の沈着が認められ、腸管穿孔や脳出血などその病因となっている症例が認められる。</p> <p>Amyloid 蛋白は蛋白の三次元構造形成過程における protein misfolding により形成される β-pleated sheet 構造を特徴とする蛋白で、AA、AL、AH など様々なタイプ分類がなされており、それぞれのタイプに特有な病型が存在する。今回我々は、当院における amyloid 沈着症例を抽出し、その臨床的、病理的特徴を調べることで当院医療圏における amyloid 関連疾患の疫学的、組織学的特徴を明らかにする。</p>	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。